



「岩手・宮城内陸地震」のお見舞と 一の宮巡拝会・和歌山全国交流会報告

開催日 平成20年4月26日(土)～27日(日)
 開催地 紀伊国一の宮伊太祁曾神社 於:有功殿(奥宮司さまのご講演及び全国交流会)
 第一日目 JR和歌山駅東口集合～日前神宮・国懸神宮(社頭参拝)～伊太祁曾神社(正式参拝)～高野山蓮花院・懇親会及び宿泊
 第二日目 高野山奥の院(弘法大師御廟)御参り～丹生都比売神社(正式参拝)～JR和歌山駅東口解散

● 6月14日午前8時43分ごろ、岩手県内陸部を震源とする強い地震が起こり同県奥州市と宮城県栗原市・大崎市で震度六を記録する直下型の地震が発生しました。阪神大震災に匹敵する揺れの強さと報道され驚きと共に震災に遭われた岩手・宮城・秋田方面の方々に心よりお見舞い申し上げます。個人的に知人もいますが、巡拝会会員の方も多くいます。奥州市水沢には陸中国一の宮・駒形神社があります。日を追うごとに災害の大きさが報道され心を痛めている次第です。亡くなられたり行方不明の方に、心より哀悼の意と震災に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く回復されます事をご神前に祈念してまいりたいと思っております。

● 一の宮巡拝会『平成20年度全国交流会』は和歌山県の一の宮、三社巡拝を含めて表記の通りのコースで実施されました。先ず和歌山駅からバスで移動し、日前・国懸神宮を社頭参拝しました。20名ほど希望者を募り貴志川鉄道のイチゴ電車で伊太祁曾駅へ向かう班とバス班と神社で合流となりました。伊太祁曾神社の奥宮司さまには大変お世話になり、平成18年・19年の神宮式年遷宮のお木曳き行事に会員多勢が参加させていただきました。今回も感謝の真心を込めて正式参拝をさせていただきました。その後、有功殿に於いて交流会が開催され奥宮司さまから伊太祁曾神社の由緒と三柱の神様のお働きとご神徳をご講演頂きました。次に本多英五郎様から一の宮108社の写真を

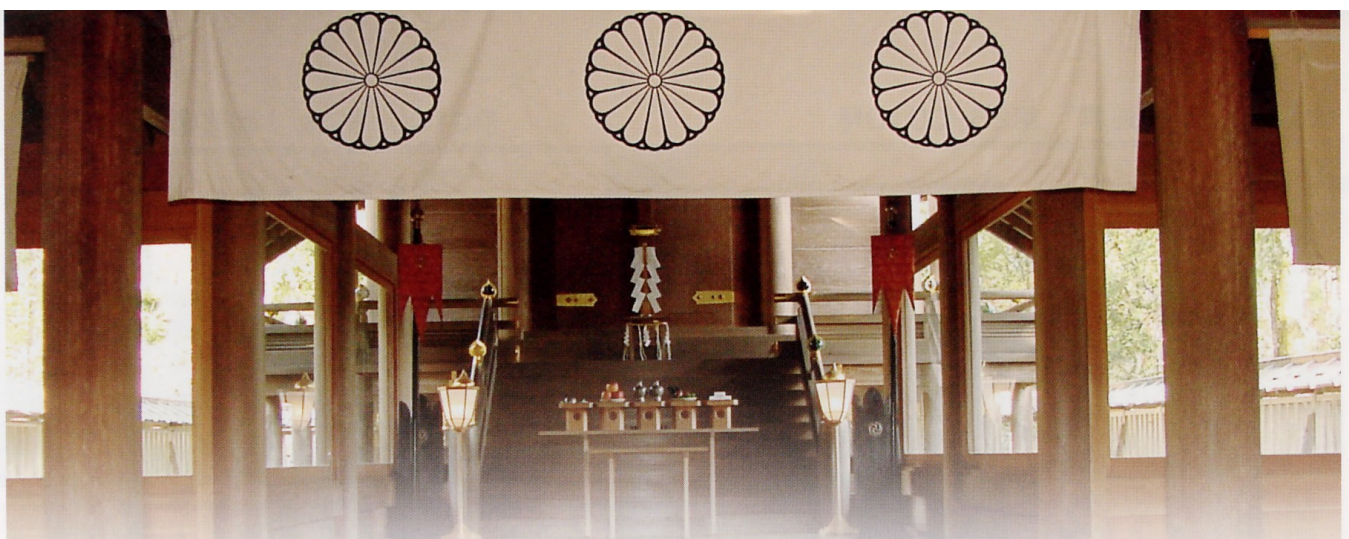
CDに収めた記録とそこから抜粋された素晴らしい写真を基に特長のあるご本殿や狛犬、鳥居、手水舎などの解説が有りましたが、残念ながら時間が足りず高野山へ向かうバスの中で継続してお話を頂きました。引き続き生谷陽之助顧問から「紀伊国の一宮」と題してレジメに沿って日前神宮・国懸神宮、伊太祁曾神社、丹生都比売神社の各ご祭神と延喜について説明がありました。



宿泊地の高野山蓮花院は巡拝会とは非常にご縁の深い寺院で特に東山泰清ご住職さまは数々の巡拝会の鎮魂慰霊・平和祈願の祭典に尽力下さっておられる方です。その宿坊で懇親会を開き宴たけなわの締めには恒例となっている木曾の池田様から、

会の発展を込めた木遣りを参加者全員で合の手を打ち感動のお開きとなりました。翌日は高野山奥の院(弘法大師御廟)でお姿が見える様な近くでお参りさせて頂きました。壇場伽藍を見、丹生明神を祀る御社を参拝し次に金剛峯寺をお参りして美味しい昼食を済ませ、丹生都比売神社へ向かい、丹生宮司さまが迎えて下さり、外玉垣内で正式参拝をさせて頂きました。宮司さまからご由緒並びに高野山との関わりまた殿内の一部に到るまで詳しくご説明頂き感激の参拝でした。お茶を頂き今回も又、多感多学の機会を感謝しつつ帰路につきましたが、二日間好天に恵まれ充実した交流会及び巡拝が出来ました事、ご協力頂いた会員の皆様と幹事の皆様に御礼申し上げます。

東京事務局・副代表世話人 塩原 輝昭



丹後国一の宮籠神社拝殿から御本殿の階(きざはし)と幣

— 平成20年9月21日近畿ブロック正式参拝予定 —

巡拝の声

神様に感謝 全国一の宮三廻り完拝

平成10年～平成19年にかけて「全国一の宮神社」を三廻りさせて頂けた。ただただ無事故で目標が達成出来た事を神様に感謝している毎日です。

自宅近くの建部大社が近江国一の宮神社であることは、小さい頃から知っていた。私と一の宮神社(建部大社)との関わりは、中学校・高等学校が建部大社の隣りで、特に高校時代は境内で弓道の練習をした。又、結婚式を挙げさせていただき毎年家族で年始の参拝をさせて頂いている神社です。

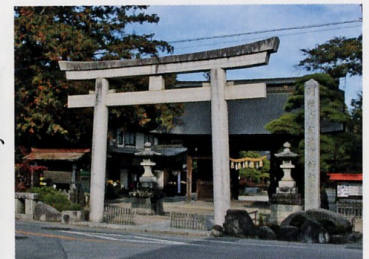
三巡しての完成品は朱印帳(3冊)、掛け軸、神社の由緒書集、写真集(本殿・鳥居)である。朱印帳は神棚に、掛け軸は床の間に掲げ朝夕拝礼している。由緒書集・写真集は時々見ては懐かしく思い出しています。朱印の記帳について無人の神社には必ず予約して行ったので、三巡とも全て直接記帳して頂けた事はただただ神様に感謝するのみです。

私自身巡拝出来たのは、次の要件が整う必要があると日頃より思って感謝しています。(神への信仰心及びお導き・自身の健康・旅費・休暇及び家族の理解)
上記の他に、私は旅行を兼ねて行く心の余裕も必要ではないかと思っています。三巡した感想を綴ってみました。

- 一巡時と、三巡時とでの主な進歩した事柄については、地図で調べ行程を決め、神社に宿を問い合わせ予約して巡拝していたが、今はパソコンで宿を予約し、カーナビに行程を設定後ETCの利用でノンストップで巡拝後に迷う事なく宿泊先にも行ける様になった。又、途中でも携帯電話で予約等の連絡が出来て大変便利になった。一巡時は神社の極近くで道に迷い大変困った事がよくあった。開発が進み道路自身が大変良くなった事も喜ばしい事である。二巡目と三巡目は昔の街道に沿って計画したのが良かったと思います。
- 旅行を兼ねて行ったので色々な体験が出来て楽しい思い出が残り残りました。

失敗・・・●朱印記帳代を忘れ引き返した。●朱印記帳順番札を持ち帰り郵送した。●首都高速で出口を間違え7回入り直した。●立山の峰本社よりの帰路、岩場で足を踏み外し3ヶ月間正座が出来なかった。

感激・・・一巡時、神社がわからず尋ねた時、親切に教えてくださった神職さんの好意で、朱印記帳を早朝・深夜にも頂く事が出来た事や三巡目の最後が浅間神社だったが、本殿を参拝後、後ろを廻りふと見ると小さな祠がありご祭神が天照大神様であったので、完拝のお礼を申し上げた。社務所で朱印帳を受け取る時、おめでとうの言葉とお箸を頂き感激した。新年より大切に使用したいと思います。



甲斐国一の宮浅間神社

●今後の人生について

他人に優しく自分には厳しさを忘れず余生を楽しんで生きたいと思っています。
一の宮神社巡拝は京都の上・下賀茂神社を(毎月)、伊勢神宮他近畿地方の一部の一の宮神社には毎年2回程度巡拝します。各地の一の宮神社は旅行の都度巡拝したいと思っています。

最後に古代より日本民族が大切にし、信仰して来た神社、その内で最も格式の高い一の宮神社が民衆から親しまれ崇敬される事を心より願っている一人であります。

諸国一の宮神社巡拝が盛んになり、目標の百万人達成が早からん事を祈りつつ、また私の三廻り巡拝目標が達成出来たのも、国々の一の宮大神様のご加護の賜物と感謝している毎日です。

一の宮神社巡拝の魅力に益々取り付かれ一生の楽しみにしたいと思いつつ、一の宮神社及び一の宮巡拝会の繁栄を祈っております。
(大津市 本郷徹)

小説「全国一の宮」調元祖

橘 三喜 (第三十四回)

郡 順史・作 梶 鮎太・画

さいわいに当社神宮堤信幸は在社してくれてた。
そして二人を飲んで迎え、久闊の挨拶を交したあと、
「この度は二つながらの大仕事を引受けられ、大変で
ござりますな」

と、三喜をいたわった。

二つとは、むろん一つは壱岐の天手長男命神社
の假宮居の祭祀であり、二つ目は日本六十余洲の
一の宮巡拝のことである。

当然堤宮司は知っているの激
励をかねてのいたわりであろう。

それに対して三喜は深く頭を下
げて謝意をしめし、言った。

「壱岐のお祭りはともあれ、もう一
つのほうは、気が挫けねばよろし
いのですが」

「なにに貴方なら、五年が十年
かかろうが、そのほうの心配はご
ざいますまい。幼少の頃より意志
が強うございましたから。それに
故語にも、志あれば事必ず成る、
と申します。貴方なら必ず志を遂げられましよう、信じ
ております」

この二人の話を、三喜から三^{みひざ}膝下って、かしこまっ
て聞いている島上平之進をちらっと見てから、三喜は
堤宮司に告げた。

「実は本日伺ったのは、この者についてでございます
が……」

本来なら堤宮司には島上平之進の先の身分、そし
て今度諸國巡拝に同行することなどを告げ、島上には、
宮司と自分の関係を話し、信頼と安心をあたえるべき
なのであろうが、二つながらに後まわしにして、弟子
入りを頼んだ。

「ほお、私に、この人をですか」

宮司は島上の顔をひたと見て、横顔で三喜に訊いた。
島上はまるで必死の形相をしめして、ひたと宮司の

両眼を見つめていた。

それが宮司の氣をひいたようだ。三喜の返事も待
たずに島上へ質問した。

「古事記をお読みになりましたか？」

「はい」

「理解出来ましたか？」

「はい。しかし、理解出来た部分のほうが、出来なかつ
た部分よりはるかに少のうございました」

「なるほど、正直でよろしい」

宮司ははじめて微笑をみせ、また一つ質問した。

「貴方がこれまでお読みになった書物の中で、一番に
記憶に残っている書物はなんですか？」

島上は少々考えてから、

「今昔物語集でございました」

と小さな声で答えた。

「ほう、今昔物語、を」

ちょっと意表を突かれたようだが、
それには触れず、「ちょっとお待ちを」とことわって立上がり、奥
へ入ってほどなく戻って来た。その右手には薄い書物が握られて
いた。

その書物を島上の前に置き、

「これは私家版の注釈書でござ
います。これと、先の古事記と

をお読みになり、理解出来ぬ個所があったら、私の
処へ質問においでなさい。それを貴方の勉学の方法
と致しましょう。おいでになるのは昼夜をといません」

と告げた。そしてその顔を三喜に向けて、

「こんな方法で如何でございましょう」

と訊いた。

「早速のご承引、有難うございます」

三喜はそう言って頭を下げ、その顔を島上へ向けた。
島上も急いで姿勢を直すと、

「早速のご承引、有難うございます」

三喜とそっくり同じ言葉を吐いて、両掌をつき深々
と頭を下げた。

間もなく二人は、宮司の前を退り神社を出た。

(つづく)



平成二十年度「一の宮巡拝会」 近畿ブロック交流会のお知らせ

恒例の近畿ブロック交流会を左記により開催します。
今回は日本三景のひとつ天橋立の北の付け根に鎮座する丹後国の宮・元伊勢籠神社、及び酒吞童子の大江山の麓にある元伊勢内宮(皇大神社)、元伊勢外宮(豊受神社)を巡拝するコースです。



*「お伊勢さま」のふるさととして知られる籠神社は神宮創建以前、現在の奥宮のある天の真名井原に豊鋤入姫命さまによつて宮中から天照大神の神霊が遷幸され四年間に亘り「吉佐宮」の名で祀られたことから元伊勢と呼ばれています。

日時 平成二十年九月二十一日(日) 日帰りバス巡拝
集合 JR新大阪駅一階南側観光バス駐車場
 午前八時四十五分〜午前九時出発
解散 JR新大阪駅 午後六時半頃
会費 一万円(玉串料・交通費/貸切観光バス・飲み物/昼食代含む)
行程 新大阪駅→天橋立(昼食)→籠神社(正式参拝・交流会)→元伊勢外宮→元伊勢内宮→新大阪駅

◎全国一の宮巡拝のすすめ・改訂版(三百円)
 ◎全国一の宮参拝参考資料・初版(百五十円) **完成**

「ご購入希望者は東京事務局まで」

新・御朱印帳完成

好評の出雲千年和紙・斐伊川和紙(二万五千円)のご朱印帳につき、第三版として新規に普及版を製作いたしました。出雲和紙同様、軽くて携帯に便利(二五〇g)、墨書きも吸い込みが良く速乾性にも優れ好評です。
 *の宮神社以外の御神印をいたたくため、本文全て白紙版の御朱印帳もございます。ご購入希望者は東京事務局まで



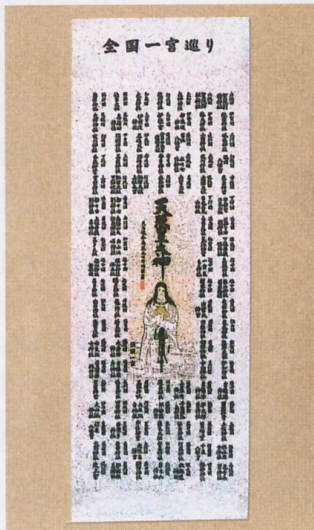
四国和紙・楮笹ヶ峰(高知県)の和紙の普及版
 定価7,000円(送料別)



B5判和紙本文全て白紙版
 定価6,000円(送料別)

全国一の宮巡り朱印掛け軸(仮巻)

「全国一の宮めぐり朱印仮巻」です。中心に天照皇大神のお姿絵を配し、周りに〇六社(新一の宮五社を含めて)の御朱印記帳枠がつくれそれぞれの御社名を記しています。



サイズ 177×63.5cm 簡易ケース付
 32,000円(税込み)
 (表装及び木箱は別途料金)

【お申し込み先】

都波岐奈加等神社

〒五二一〇〇三二 三重県鈴鹿市一ノ宮町二八二番地
 電話〇五九一三八三九九八 FAX〇五九一三八三九九五

◎郵便振替

◎都波岐神社(名古屋)〇〇八七〇〇〇一九六〇

◎銀行口座

「宗教法人都波岐神社」三重銀行・鈴鹿・普通二四一五五九

第二十八回 諸国一の宮めぐり

朝日旅行 — 巻岐・対馬 —

出発日 二〇〇八年九月二十三日(水)二泊三日
 旅行代金 おひとり様九万八千円/二人室

集合 JR新大阪駅八時五十分集合(予定)
 JR新神戸駅乗車九時二十四分発(予定)

コース

- ①新大阪(九時十分)→新神戸(博多)→豊後高田(少式公園)→元寇跡(はらけ地蔵)→月読神社(房ノ辻)→浦ノ浦(ホタルクラフト)→太安閣泊
- ②住吉神社→天長男神社(巻岐)→原の辻遺跡→郷ノ浦→対馬(厳原港)→海神社(対馬)→和多都美神社→鳥帽子岳展望台→対馬クラフトホテル泊
- ③上見坂展望台→権根・石屋根→小茂田浜(元寇古戦場)→厳原方松院(旧藩主菩提寺)→博多(新神戸)→新大阪(二十時三十分頃)

【最終巡拝】
 第二十九回 諸国一の宮めぐり

朝日旅行 — 陸奥・出羽 —

期 日 二〇〇八年九月十七日(水)十九日(金)二泊三日

◎詳細は左記にお問い合わせください。
 同行案内◇生谷陽之助氏/一の宮巡拝会顧問

申し込み
 お問い合わせ

受付時間 九時三十分〜十七時三十分
 土・日・祝日は休ませて頂きます。

旅行企画・実施 株式会社朝日旅行
 〒五三〇〇〇〇四

大阪府大阪市北区堂島浜二丁目二十九古河大阪ビル本館5F

一の宮巡拝会本部事務局 創房閑宮(有)内

〒六六六〇二一 兵庫県川西市大和東二丁目三十一

電話 〇七二七九一五五八

FAX 〇七二七九一五五九

E-mail: jumpai@sekinomiya.com

一の宮巡拝会東京事務局(株)アドワーク内

〒一一〇〇五五 東京都台東区三筋一丁目二十二

電話 〇三二五八三二二九〇

FAX 〇三二二八六五二二三五

E-mail: shio0369@crocus.ocn.ne.jp

入会金及び会費について

一般維持会員 年会費 三〇〇〇円

賛助会員 一口三〇〇〇円(何口でも可)

寄付金 お志し ※常時受け賜ります。薄謝謹呈

●会費等お振込み先

郵便振替(大阪)〇〇九九〇一五八二五二五